



日本郵船

UNIX NCT
株式会社ユニエックスNCT



MITSUI E&S

Iwatani

令和5年5月30日
東京都
日本郵船株式会社
株式会社ユニエックスNCT
株式会社三井E&S
岩谷産業株式会社

東京港における荷役機械のFC化プロジェクトの実施について

このたび、東京都港湾局、日本郵船株式会社、株式会社ユニエックスNCT、株式会社三井E&S及び岩谷産業株式会社は、大井コンテナふ頭において、タイヤ式門型クレーン(RTG)^{※1}に燃料電池(FC)^{※2}を実装し、水素を燃料とした荷役作業を実施するため、協定を締結いたしました。

本プロジェクトの成果を広く展開することで、荷役機械等の水素利用の普及促進を図り、東京港の脱炭素化を推進してまいります。

記

1 プロジェクトの名称

東京港における荷役機械のFC化プロジェクト

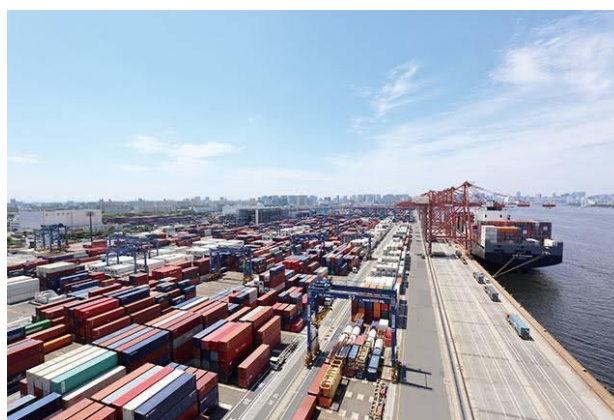
2 参画者

- (1) 東京都港湾局
- (2) 日本郵船株式会社
- (3) 株式会社ユニエックスNCT
- (4) 株式会社三井E&S
- (5) 岩谷産業株式会社

3 実施場所

東京都品川区八潮二丁目5番2号

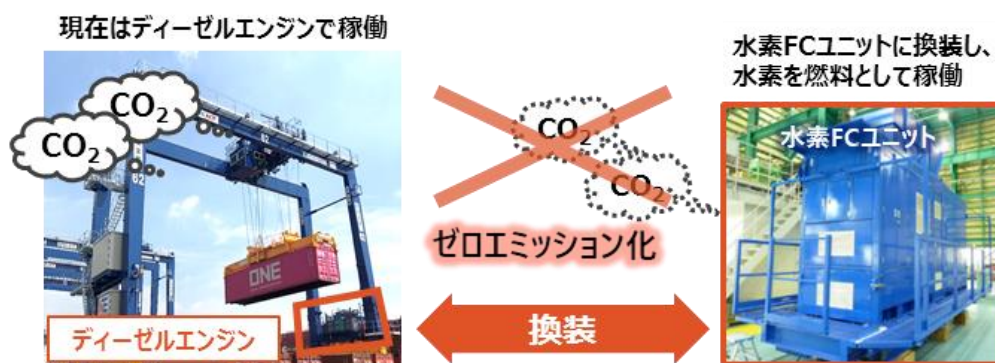
(大井ふ頭6/7号バース 日本郵船東京コンテナ・ターミナル内)



4 実施内容

- (1) 荷役機械のディーゼルエンジン発電機のF C発電装置への換装
- (2) 荷役機械に対する水素供給体制の構築
- (3) 荷役機械による荷役作業の実施 (荷役機械に対する水素充填を含む)

【荷役機械の換装】



【水素の供給体制】



【主な役割】

参画者	分担
(1) 東京都港湾局	東京港における水素活用の普及促進 等
(2) 日本郵船株式会社	全体調整、実施計画、実施場所の提供 等
(3) 株式会社ユニエックスNCT	荷役作業や水素充填作業の実施 等
(4) 株式会社三井 E&S	荷役機械の F C 発電装置への換装 等
(5) 岩谷産業株式会社	水素燃料の調達、運搬及び供給 等

5 今後の予定

令和5年（2023年）：事前調査・実施計画、F C 発電装置等の設計・製作 等

令和6年～7年（2024年～2025年）：荷役機械の F C 発電装置への換装、
水素を燃料とした荷役作業の実施、検証 等

※ 1 タイヤ式門型クレーン（RTG: Rubber Tired Gantry crane）：両端にタイヤ付きの脚を設け、
地上にレールを設置しなくても走行することができるクレーンのこと

※ 2 燃料電池（FC: Fuel Cell）：水素と酸素を化学反応させて、電気を発電する装置のこと